

令和 3 年度に安芸高田市立中学校で使用する教科用図書の採択に係る答申

安芸高田市教科用図書採択地区選定委員会

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

教科名	美術
第 1 推薦	3 8 光村
第 2 推薦	1 1 6 日文

(美術) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
9 開隆堂	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の目標は、題材で身につけたい力を「知識や技能に関する目標」、「思考力・判断力・表現力に関する目標」、「学びに向かう力に関する目標」の3つの目標とし、マークとともに示している。 ・[共通事項]を視点とした学び方は、「学習のポイント」や学習の進め方を示すコーナーに、[共通事項]に着目するよう促すコメントを載せている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に、表紙と連動した「発見と創造」【1】「探究と継承」【2・3】と題するページを設けている。 ・作家や生徒の作品とともに、生徒の活動の様子を写真で示している。 ・表現と鑑賞のページをそれぞれ独立して示している。 ・3年間の学習のまとめとして、「美術の力を生かして社会とかかわる」(p92、93)の特設ページを設け、社会における美術の役割等を示している。【2・3】
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術1」、「美術2・3」の2冊で構成している。 ・「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」「鑑賞」「まとめ」など、題材を分野等に分けて配列している。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・題材のメインタイトルの横に学習目標の3本柱を示している。 ・絵や彫刻で学ぶこと、デザインや工芸で学ぶこと、学びの資料、表現、鑑賞を色分けした文字・タグで示している。 ・高村光太郎の作品を取り上げ、作品の解説を表記している。【1】 ・「学びの地図 形と色彩の冒険に出よう！」に絵、彫刻、デザイン、工芸、鑑賞のそれぞれの授業風景の写真と解説を示している。 ・全体を通して、「学習のポイント」を呼びかけの形式で示している。 ・各分野の最初に導入(オリエンテーション)のページを設けている。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品、生徒作品とともに作者の言葉を示している。 ・デザイナーのインタビューなどを掲載している。 ・仲間と調査し、考え、話し合う過程を写真で示している。
3 8 光村	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の目標は、題材を通して身につける力を目標として、「表現」と「鑑賞」の領域ごとに示している。 ・[共通事項]を視点とした学び方は、「表現」と「鑑賞」のアイコンの横に、[共通事項]を視点とした活動を促す文を載せている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に、谷川俊太郎の「うつくしい！」の文章を掲載している。 ・作家や生徒の作品とともに、工夫点を確認し、自分の表現に生かすヒントにするために「みんなの工夫」のコーナーでは、生徒の制作過程を示している。 ・「最後の晩餐」のページの前に、消失点を探すためのトレーシングペーパーを添付している。 ・巻末資料の中に、「地域と美術とのつながり」や「美術の力」と題したページを設け、社会における美術の働き等を示している。【2・3】
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術1」、「美術2・3」の2冊で構成している。 ・「はじめに」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」など、題材を分野等に分けて配列している。 ・巻末資料の3年間の合計ページ数が、3発行者中で最も多い。

	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・題材のメインタイトルの下に目標を示している。 ・生徒が撮った写真とコメント、活動している場面の写真と解説文を掲載している。 ・「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「学習を支える資料」を色分けして示している。 ・「中学校 3 年間で学習すること」と示している。 ・鑑賞のページでは、材質の違う紙に印刷している。 ・4 ページが見開きページになっており、俵屋宗達の風神雷神図屏風の写真を掲載している。 ・他教科とのつながりを作品の写真と解説文で示している。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・谷川俊太郎の「うつくしい！」の文を掲載している。 ・写真とともに生徒の書いたコメントを掲載している。 ・作家の発想・構想について作家自身の文章で示している。 ・作品制作の段階で、生徒同士が話し合っている写真とコメントを掲載している。
116 日文	観点 1	<ul style="list-style-type: none"> ・題材の目標は、題材で身につけたい力を3つの「学びの目標」とし、「造形的な見方を豊かにする視点や、技能に関する目標」、「発想や構想、鑑賞に関する目標」、「主体的に学習に取り組むための目標」をマークとともに示している。 ・[共通事項]を視点とした学び方は、「造形的な視点」の吹き出しに、[共通事項]に着目するよう促す文を載せている。
	観点 2	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭に「この教科書で学ぶみなさんへ・目次」を掲載している。 ・作家や生徒の作品とともに、生徒の活動の様子を写真で示している。 ・「社会に生きる美術の力」のページに、異なる分野で活躍する3名の紹介とインタビューで、美術の学びが社会や生活の場面で生かされていることを示している。【2・3下】
	観点 3	<ul style="list-style-type: none"> ・「美術1」、「美術2・3上」、「美術2・3下」の3冊で構成している。 ・「オリエンテーション」「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」など、題材を分野等に分けて配列している。 ・「デザインや工芸など」の3年間の合計ページ数が、3発行者中で最も多い。
	観点 4	<ul style="list-style-type: none"> ・題材のメインタイトルの上にサブタイトルで活動や目的を示し、その横に学びの目標の3本柱を示している。 ・「中学校美術の世界へようこそ」では、生徒作品と生徒の制作活動の写真を用いて、図画工作から中学校美術1～3年の学習の系統性を示している。 ・生徒作品と制作風景と作者の言葉を掲載している。 ・鑑賞との出会いを「作品から感じとろう、美術文化や伝統から学ぼう、生活の中から形や色彩から感じよう」と3つのテーマで示している。 ・見開きページで尾形光琳の燕子花図と解説文を掲載している。 ・神奈川沖浪裏の原寸大の写真を掲載している。
	観点 5	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びの言葉」として、著名人の文章を掲載している。 ・作品の側には作者の言葉を掲載している。 ・発想、構想を練る時に考えたアイデアスケッチと生徒の文章を実際のスケッチブックの写真で示している。また、生徒作品とともに生徒の書いた文章の写真を掲載している。 ・2・3下の最後のページに「あなたへ 明日への巣立ち」の文章を掲載している。